



山田だより

6月号

令和 元年
神戸市立山田小学校

登り終えみんなで歩く青葉みち

5年生が自然学校に行ってきました。毎年、いろんなプログラムをしますが、心に残るものとして必ずあがってくるのが登山です。今年は気温が少し高かったので、1時間ほど出発を早め、スタートしました。その分、美しい景色が見られました。他の団体とも出会わず、山田小学校で、山をひとり占めできました。そして、素晴らしかったのは、弱音を吐かずみんなが登頂できたことです。みんなそろって記念写真を撮りました。宿舎への帰り道、若々しく日に日に緑を増していく青葉が茂った林道を歩きました。やや疲れが見える顔にちよっぴり満足げな笑顔が感じられました。



さて、子供たちは、日々の授業だけでなく、体験活動でも多くを学びます。特に、自然学校は、自然体験、集団生活体験、サバイバル体験など、学校生活ではできない体験をします。その中で、挑戦する心・友達を思いやる心・最後まで頑張りぬく心を養います。また、それが経験値となって自己を、さらに、集団を成長させます。いろんなことにチャレンジし、仲間と共に学んだ自然学校でした。

自然学校に限らず、教室を出て学習する場はたくさんあります。1年生と6年生も王子動物園に行って心温まる1日を過ごしてきました。どうしてあげればいいのか考えました。その一つ一つの行動に思いやりが感じられました。どの学年もその一つ一つの体験を通し、逞しい山田の子になっていきます。今月も、自分の力で壁を乗り越え、笑顔あふれる日々を過ごしてほしいと願っています。

校長 橋本紳一郎